

I. 広東省

1 中国（広東）・韓国友好週間が広州市で開幕

●31 日、中国（広東）・韓国友好週間開幕式が広州市星海音楽ホールで開催された。陳良賢・広東省副省長が盧英敏（ノ・ヨンミン）・在中国大韓民国大使と会見した。陳良賢・副省長は、去年の中国と韓国の貿易総額の 4 分の 1 は広東省との貿易であり、今年 6 月には第 7 回「中国（広東）・韓国発展交流会が惠州市で行われ成功を収めた。惠州市には中韓産業パークが設立され、双方の経済・貿易協力の見通しは明るく、中国（広東）・韓国友好週間を新たな起点として広東省と韓国の経済・貿易、文化・観光等の多くの領域で密接に協力を深めたいと述べた。盧英敏・大使は、韓国は広東省との協力範囲を拡大したいと思っている。特にハイテク技術領域での実務的な協力をを行い、更に多くの韓国企業が中韓産業パークに加入することを期待していると述べた（1 日付「南方日報」6 面）。

2 2018 年広東・香港・マカオビッグベイエリア院士サミットの第 4 回広東年次総会が開幕

●2 日、中国科学院、中国工程院、広東省人民政府指導の下、広東省の院士による連合会、東莞市人民政府主催の下、2018 年広東・香港・マカオビッグベイエリア院士サミットの第 4 回広東年次総会が開幕した。馬興瑞・広東省長、周濟・中国工程院主席団名誉主席が総会に参加し挨拶を述べた。会議上では、鄔賀銓・情報産業部電信科学技術研究院副院長が、今年の年末までに 5G 電波使用の許可が出る可能性について言及し、基地局ではすでに基本的な商用での実用レベルに達していると述べた（3 日付「南方日報」2 面、4 面）。

※中国工程院とは、技術分野の最高研究機関であり、国務院直属の事業機関でもある。国の重要なプロジェクトの科学・技術問題に戦略的な研究を行い、工学事業の発展に取り組んでいる。

※広東院士連合会とは、広東工作院士と広東籍有識者が自主的に発起した組織である。鄔賀銓・情報産業部電信科学技術研究院副院長は広東院士連合会諮問委員会の主任。

II. 広州市

1 保定市党政府代表団が広州市を視察

●29 日、張碩輔・広州市党書記が広州市で聶瑞平・保定市党書記率いる代表団一行と座談会を行った。張碩輔・党書記は、両市が北京・天津・河北の協力・発展と広東・香港・マカオビッグベイエリア建設などの国家戦略を相互学習・相互推進していきたいと述べた。聶瑞平・党書記は、保定市と広州市が更に協力関係を深め、保定市が深セン市に知恵と力を借り、保定市の新たな発展を実現することを促進したいと述べた。代表団一行は、広州市に滞在中、宣伝推進会議を招集した。また、广汽グループを視察した（30 日付「広州日

報」1面)。

2 1月～9月までの広州市のGDPは6.3%増

●1月～9月までの広州市のGDPは1兆6,708億円で、前年同期比6.3%増だった(30日付「広州日報」5面)。

3 黄浦区で高度人材を招聘

●黄浦区と広州開発区の発表によれば、経済発展主要領域及び重大プロジェクトに関係する19の部門で30名を世界中から選抜、採用する。年俸は50万元～200万元(30日付「広州日報」15面)。

4 広州市がタクシーの乗車拒否などに最高2,000元の罰金を検討

●30日、広州市人民代表大会常務委員会は、タクシーの乗車拒否等に対して罰金を科す条例案の改正案を審議した。理由なく乗車拒否や遠回り、乗客の同意なく他の客を乗せる等した場合には、500元～2,000元の罰金を科すことを検討している。広州市交通委員会に寄せられたタクシーに対する苦情は380件で、乗車拒否が30%、遠回りが24.74%、値段交渉が18%、降車強要が7.11%だった(30日「南方都市報」6面)。

5 広州市で全国初の自動運転タクシーの試験運用を開始

●1日、広州公共交通グループによれば、広州大学城で全国初の自動運転タクシーの試験運用を開始したと発表した。初乗り料金は一般タクシーと同じ12元。現在は試験運用のため、地下鉄駅の大学城北駅C出口から広州大学の正門までの区間のみを14時～16時に運行している(2日付「南方日報」9面)。

Ⅲ. 深セン市

1 陳如桂・深セン市長が保定市代表団一行と会見

●29日、陳如桂・深セン市長が聶瑞平・保定市党書記率いる代表団一行と会見した。聶瑞平・党書記は、保定市は更なるイノベーションの新方式・領域の開拓を、絶えず深セン市と協力していきたいと述べた。陳如桂・深セン市長は、両市が緊密に助け合い、協力関係を深化し、国家重大戦略を共同実行し、共に地域の発展に更なる貢献していくことを期待していると述べた(30日「深セン特区報」3面)。

2 済南市党政府代表団が深セン市を視察

●30日、王忠林・済南市党政府代表団が深セン市の改革開放、科学技術、質の高い発展の促進等の方面の実施方法や経験を視察・研究した。王偉中・深セン市党書記と陳如桂・深

セン市長が王忠林・党書記率いる代表团と座談会を行った。王偉中・党書記は、40年の発展は深センを辺境の農業県から魅力、原動力、活力、イノベーションがあふれる都市にした。新たな力を持つ現代的な国際イノベーション型の都市となった。両市の良好な協力を基礎に、ウィンウィンの関係を築き、各領域での更なる協力、両市の更なる発展、全国的な発展のための更なる貢献をしたいと述べた。王忠林・党書記は、深セン市の科学技術イノベーション、産業の発展、都市建設管理、人材育成等の方面で更なる交流・協力をし、多くの成果を上げ、新たな発展を実現したいと述べた。座談会の後、代表团一行は、深セン市人民政府で済南市人民政府協力枠組協定に署名し、深セン市科学技術イノベーション委、公安交通警察、中国科学技術開発院等の関連する部門と協力協定を署名した（31日付「深セン特区報」1面、2面）。

3 日中専門家によるグローバル経済情勢討議会が深セン市で開催

●30日、中国（深セン）総合開発研究院で「新情勢下での日中関係 合作互惠関係推進」をテーマに討議会が行われた。藤田勉・一橋大学大学院特任教授率いる日本人の専門家が総合開発研究院を訪れ、中国の専門家達と深く討議した。討議会では、米中貿易摩擦による世界経済の影響や両国の協力関係について討議した。藤田勉・特任教授は、我々代表团一行は深センでAI、科学技術、金融、バイオ科学技術などに焦点を合わせ、交流・協力していきたいと述べた（31日付「深セン特区報」12面）。

4 王偉中・深セン市党書記が、英国ヨーク公アンドリュー王子殿下一行と会見

●1日、王偉中・深セン市党書記が、英国ヨーク公アンドリュー王子殿下一行と会見した。王偉中・党書記は、一帯一路、広東・香港・マカオビッグベイエリア、芸術、人的交流、経済・貿易、科学技術イノベーション等その他様々な方面での協力により、中英関係の黄金時代を築きたいと述べた。アンドリュー王子は英国と深セン市の関係は日々密接になり、イギリスのイノベーション創業プロジェクトや企業、大学関係者の深セン来訪など、英国と深センの協力レベルを更に強めたいと述べた。会見には、ウッドワード・在中国英国大使、マドックス（Maddocks）在広州英国総領事、高自民・深セン市党秘書長、王立新・深セン市副市長も会見に同席した（2日付「深セン特区報」3面）。

※アンドリュー王子は、エリザベス2世女王の次男。イギリス王位継承順位第7位。

IV. 福建省

1 第5回世界仏教フォーラムに汪洋・中国共産党中央政治局常務委員兼全国政協主席が祝電を送付

●29日、第5回世界仏教フォーラムが福建省莆田市で開催された。汪洋・中国共産党中央政治局常務委員兼全国政協主席はフォーラムの開催に祝賀メッセージを寄せ、国内外の高

僧・大徳、各界の人々に熱烈な歓迎の意を表明し挨拶を送った。汪・主席は、仏教は中国に伝わってから、中国の伝統である儒家や道家の文化とともに広まって相互に融合しあい、伝統文化の継承や発展に大きな影響を与えたと述べた。さらに汪・主席は、世界が大きく発展し、大きく変貌を遂げているこの時代でも平和と発展は依然として時代のテーマであるが、世界は不安定・不確定性が大きい。仏教は世界に平和を広め、福祉を充実させるために積極的に貢献してほしい。人類の運命共同体の構築を推し進め、美しい未来を共に構築しなければならないと強調した（30日付「福建日報」1面）。

2 尤権・党中央書記処書記兼中央統一戦線部長が第5回世界仏教フォーラムに参加し代表者の一部と会見

●28日、尤権・党中央書記処書記兼中央統一戦線部長が福建省莆田市で行われた第5回世界仏教フォーラムに参加し、代表者の一部と会見した。尤権・党中央書記処書記兼中央統一戦線部長は、中国政府は宗教の自由の政策をしっかりと保障し、現在まで中国仏教界の独立・自主性、平等・友好、相互尊重の基礎と世界各界の仏教界の交流強化を全力で支持してきたと述べた。于偉国・福建省党書記と唐登傑・福建省長も会見に同席した（30日付「福建日報」1面）。

※同フォーラムの発表によると、過去最多の55の国と地域から、仏教界の著名人、専門家・学者、その他社会各界の著名人など1,000人余りの代表と来賓が参加した。

（了）